#### 評 価 結 果

作	成	年	月	日	令和6年2月6日
事	業	担	当	課	河 川 課

 
 事業名
 本なみきわがわ 南沢川総合流域防災事業
 補助・交付金・単独の 別
 補助・交付金・単独の 関
 補助
 事業主体
 宮城県

 施行地名
 登米市
 【位置図後掲】
 管理主体
 宮城県

根 拠 法 令 河川法第60条第2項

#### 事 業 目 的

南沢川は北上川の左支川であるが、河道狭隘部及び北上川本川の水位上昇の影響により、浸水被害が頻発している。このため、堤防の嵩上げ、河道の掘削を実施して治水安全度を向上し、沿川の浸水被害の軽減を図るものである。

#### 事 業 内 容

事業着手時 (平成13年度) 河川改修延長 L=3,100m 築堤 V=216,000m3、掘削 V=146,000m3、特殊堤1箇所、道路橋3橋 樋門樋管4箇所、サイフォン1箇所、道路付替L=4,200m 再評価時 (平成22年度) 同上 再々評価時 (令和5年度) 河川改修延長 L=3,800m 築堤 V=265,000m3、掘削 V=179,000m3、特殊堤1箇所、道路橋4橋 樋門樋管4箇所、サイフォン1箇所、道路付替L=4,200m

業

事

※特殊堤:通常は土を盛り立てる土堤が一般的であるが、市街地や施設等により用地取得が難しい場合にコンクリートや鋼矢板等により築造した堤防。

#### 【事業内容の変更状況とその要因】

・近年の洪水被害実績を踏まえ、上流部の河道断面が不足している区間を延伸している(+700m)。

の

#### 事 業 費

概

要

	全体事業費					
		内用地費	国 [ 50 %]	県 [ 50 %]	市町村 [ — %]	その他 [ — %]
事 業 着 手 時 (平成 13 年度)	44.0 億円	3.3 億円	22.0 億円	22.0 億円	- 億円	- 億円
再 評 価 時 (平成 22 年度)	44.0 億円	3.3 億円	22.0 億円	22.0 億円	- 億円	- 億円
再々評価時(令和5年度)	59.0 億円	3.3 億円	29.5 億円	29.5 億円	- 億円	- 億円

#### ※事業費増加度(重点評価実施基準指標4)

- = (再評価時事業費-事業着手時事業費) /事業着手時事業費
- = (59.0-44.0) /44.0
- = 34.1%

#### 【事業費の変更状況とその要因】

・延伸による事業内容の増、労務・物価上昇に伴う増額

#### ○事業費増減対照表 増減 事業着手時 再評価時 再々評価時 (平成22年度比) (平成13年度) (平成22年度) (令和5年度) 変更の主な理由 事業 事業 事業量 事業量 事業量 事業費 事業量 事業費 費 費 72.3% 31.8 億円 72.3% 31.8 億円 85.3% +12.8 億円 75.1% 44.6 億円 本工事費 19.3 億円 22.6 億円 +3.3 億円 築堤•掘削•護岸 19.3 億円 L=3, 100m L=3, 100m L=3,800m +700m 工 21.7 億円 12.5 12.5 +9.2 一式 一式 一式 一式 その他 億円 億円 億円 13.4% 5.9 億円 13.4% 5.9 億円 10.8% 3.3% +0.5 億円 事業内容変更、労務・物価上昇 6.4 億円 一式 測量及び試験費 一式 一式 一式 7.5% 3.3 億円 7.5% 3.3 億円 6.1% 3.6 億円 用地費及び補償 +0.3 億円 一式 一式 一式 一式 11.3% +1.7 億円 6.8% 3.0 億円 6.8% 3.0 億円 8.0% 一式 一式 一式 4.7 億円 一式 その他工事費等 100% 100% 100% 100% 44.0 44.0 億円 59.0 +15.0 合計

事業の進捗状況

規則第24条第1号関係

#### ○事業期間

事

の

概

事業着手時 (平成 13 年度	)	再評価時 (平成 22 年度)	)	再々評価時 (令和5年度)	
事業採択予定年度	H. 13 年 度	事業採択年度	H. 13 年度	事業採択年度	H. 13 年 度
用地買収着手予定年 度	H. 14 年 度	用地買収着手年度	H. 14 年度	用地買収着手年度	H. 14 年 度
工事着手予定年度	H. 14 年 度	工事着手年度	H. 14 年度	工事着手年度	H. 14 年 度
		計画変更実施(予定) 年度	_	計画変更実施(予定)年度	_
完成予定年度	H. 40 年 度	完成予定年度	H. 40 (R10) 年度	完成予定年度	R20 年度

※事業停滞年数(重点評価実施基準指数1)=6年

要 ┃※事業工期延伸度(重点評価実施基準指数3)

=(変更後予定事業期間)/(当初予定事業期間)=38/28=1.4

#### ○進捗率

令	和4年度までの	× ( )	:前回再評価時	È
	事業費	進捗率	内用地費	進捗率
	(27.3)	(62.0)	(3. 2)	(97. 0)
	42.2 億円	71.5%	3.3 億円	91.7%

- ※事業工程乖離度(重点評価基準指数2)
  - =(累加投資事業費/現全体事業費)-(累加年単純割額/現全体事業費)
  - = (42.2/59.0) (32.7/59.0) = 11.0%

#### 【事業の進捗状況 (順調でない場合にはその要因)】

- ・事業計画の見直しにより、令和元年度まで休止していたが、令和2年度より個別補助事業化し、重点 的に事業を推進している。現在は南沢川中流部の事業や上流部の設計を進めている。
- ・事業期間については、近年の洪水被害実績を踏まえ、河川改修区間を延伸したことから、令和20年度 まで延伸している。

#### ※個別補助事業(大規模特定河川事業)

事前防災対策が十分に行えておらず、計画規模の洪水が生じた場合に氾濫する危険性が著しく高い区間につい て、計画的・集中的に対策を実施することにより、早期に治水安全度を向上させることを目的とした事業である。

#### 【今後の進捗の見込み(事業スケジュール表後掲)】

・南沢川中流部や上流部の事業を実施していき、令和20年度の事業完了を目指す。

#### 施設管理の予定・管理状況

- ・事業区間の道路施設は登米市が管理する。
- ・河川管理については河川維持管理計画を策定し、管理区間を重点度により4区分に分けて管理を行っ ている。管理頻度はa区間が月1回、b区間が年4回、c1区間が年2回、c2区間が必要時にパトロ ールを実施することとし、必要に応じ支障木伐採、堆積土砂撤去作業等の維持管理作業を実施してい

#### 上位計画等

- ·一級河川北上川水系北上川(2) 圏域河川整備計画 平成26年9月
- ・見える川づくり計画(2021)(令和5年3月改訂)

南沢川は、見える川づくり計画(2021)において、河川整備のさらなる加速化のため、緊急に 実施すべき事業実施箇所に位置づけられている。

事業実施箇所は、県管理河川のうち、水害常襲河川や人口や資産が集中する河川などを選定し、重 点的に事業を推進している。

#### 事

業

必

要

#### 事業を巡る社会経済情勢等|規則第24条2号関係

#### ○社会経済情勢

#### 1) 社会背景

気候変動による災害の激甚化・頻発化を踏まえ、河川管理者が主体となって行う河川整備等の事前 防災対策を加速化させることに加え、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う「流域治水」への転 換を推進し、総合的かつ多層的な対策を行っている。

#### の 2) 過去の洪水実績

- ・昭和56年以降、洪水により22回被災し、一般被害額は17億円を超える。
- ・平成 21 年 10 月の台風 18 号による豪雨では、横山地区等において床下 49 棟、床上 45 棟、浸水面積 258ha の被害が発生した。
- ・ 令和元年東日本台風では、さらに激しい豪雨により再び甚大な被害が発生し、越水により床下 23 棟、 床上 61 棟、浸水面積 54.7ha の被害が発生している。

#### 表 南沢川の水害実績(水害統計より作成)

性

河川名	洪水年		月・日		水害原因	水害[	区域面和	責(ha)	被害(刺		被災		被災数		一般被害
					床凶	農地	宅地	小計	床下	床上	世帯数	事業所	従業員	農漁家	(+1)
	S56	8.21	~	8.21	内	88.3	0.1	88.4	1	0	1	0	0	1	147,319
	S56	9.23	~	9.26	内、有	110.3	1.9	112.2	24	0	11	0	0	0	9,880
	S61	8.2	~	8.1	内、有	12.9	7.9	20.8	65	5	32	1	1	0	201,463
	H2	11.3	~	11.5	内、有	14.0	0.1	14.1	4	0	4	0	0	0	5,768
	H10	8.25	~	8.31	内	40.0	0.0	40.0	0	0	0	0	0	0	28,339
南沢川	H11	10.27	~	10.27	内、有、無	100.6	0.8	101.4	71	16	87	1	4	0	161,723
	H14	7.1	~	7.11	内、有	69.9	0.1	70.0	12	0	12	0	0	0	10,809
	H18	10.6	~	10.8	内	51.7	0.0	51.7	0	0	0	0	0	0	4,040
	H21	10.5	~	10.9	有	256.1	1.9	258.0	49	45	47	0	0	0	220,245
	R1	10.11	~	10.15	内、無	16.6	38.2	54.7	23	61	305	3	6	1	923,720
	S56∼F	₹1の合言	lt		22回	760.4	50.9	811.3	249	127	499	5	11	2	1,713,306

※水害原因 内: 内水 有: 有堤部越水 無:無堤部浸水 他: その他(堤外地浸水等)

#### 事 3) 洪水発生時の主な影響

\* 令和元年東日本台風による洪水氾濫により、重要な幹線道路である国道 45 号が冠水し、沿線の県道や 市道も崩壊等により通行止めとなる等、交通途絶に伴う周辺地域を含めた波及被害が発生している。ま た、下流部の病院も浸水し、社会経済状況に大きな影響を及ぼした。

必

要│○地元情勢、地元の意見

・度重なる浸水被害により、登米市及び沿川の横山地区から早期完成を望む声が非常に多い。

#### 事 業 効 果

#### ○効果の発現状況

┃・国道 45 号接続部より下流は概成しており、治水安全度 1/20 が概ね確保されている。

#### 業

事

#### ○想定される事業効果

・国道 45 号接続部より上流については令和20年度までの完成を目指しており、事業の進捗に伴い浸水被害の軽減が図られる。

有

効

**ത** 

※治水安全度:確率統計学的に求められた概ね何年かに1回発生する規模の降雨による洪水が、氾濫しないように 定めた河川改修の安全度。(治水安全度1/20:概ね20年に1回降る確率の雨に対して定めた河 川改修の安全度)

性

#### 関連事業の概要・進捗状況等

・なし

事

代 替 案 と の 比 較 検 討 規則第24条第3号関係

・現河川改修が最良の案として計画され、現時点でも最良と考えられ代替案はない。

の効

コスト縮減計画 規則第24条第4号関係

率

性

・前回評価(H22)から今回評価まで、約20,000m3の築堤材料に流用土を利用することで、約1.0億円のコスト縮減を行った。築堤材等について、他工事からの発生材を有効利用することにより、コスト縮減に努める。

#### 費用対効果 規則第24条第5号関係

根拠マニュアル:治水経済調査マニュアル(案)令和2年4月版 国土交通省 水管理・国土保全局

社会的割引率: 4%

便益算定期間:事業開始~事業完了+50年後

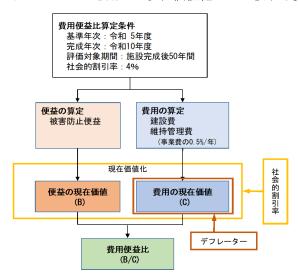
	()()/p			
	区分	事業着手時 基準年 (平成 13 年度)	再評価時 基準年 (平成 22 年度)	再々評価時 基準年 (令和 5 年度)
弗	建設費	44.0 億円	44.0 億円	59.0億円
費用	維持管理費	13.6億円	14.9 億円	21.5 億円
項目	費用の合計	57.6億円	59.0 億円	80.5 億円
H	総費用 (C)	27.1 億円	48.4 億円	106.0 億円
便益	便益の合計	257.7 億円	254.6 億円	1649.5 億円
益	総便益 (B)	38.4億円	54.0 億円	772.3 億円
費用	便益比(B/C)	1. 42	1. 12	7. 29

※表示桁数の関係で計算値が一致しないことがある。

※費用項目については、消費税を控除した金額である。

#### 【費用対効果算出方法】

・治水施設の整備及び維持管理に要する総費用と、治水施設整備によってもたらされる総便益(被害軽減)を、社会的割引率及びデフレーターを用いて現在価値化して比較する。



現在価値化:費用便益分析では、便益や費用を現在の価値として統一的に評価するために、将来

または過去における金銭の価値を現在の価値に換算する必要がある。

社会的割引率:費用便益分析において、将来の便益や費用を現在の価値として統一的に評価(現

在価値化)する際に割り引くための比率である。国土交通省所管公共事業の費用便益分析で適用される社会的割引率は全て4%とされており、4%と設定している。

デフレーター: 名目価格から実質価格を算出するために用いられる価格指数。

#### 【事業の費用 (C)】

- (1) 建設費・維持管理費はデフレーターによる補正及び社会的割引率 4%を用いて現在価値化を行い費用 を算定する。
- (2) 維持管理費は建設費の 0.5%/年とし、評価対象期間内(施設の完成後 50 年間)での維持管理費を対象としている

費用の合計 80.5 億円 → 総費用 (現在価値化) 106.0 億円

事業の効

率

性

#### 【事業の便益(B)】

- (1) 事業の便益(効果)は、河川改修によって軽減される被害額(=被害防止効果)を算出する。
- (2) 洪水は自然現象であるため、既往最大の洪水に対する経済的な分析を行うだけでは不十分であり、 他の河川との比較や目標整備水準に対する妥当性に対する経済的な評価を行うため、対象とする洪 水の規模をその生起確率から設定する。
- (3) 計画規模を含むいくつかの確率年を設定し、治水施設の整備によって防止し得る被害額を便益とする。このとき被害額は一般資産、農作物、公共土木施設等、農地・農業用施設に区分して算出する。
- (4) 確率年別に求めた被害額に流量規模に応じた洪水の生起確率を乗じて求めた確率年別年平均被害額 を累計し年平均被害軽減期待額を算定する。年平均被害軽減期待額は、整備期間中は建設費に応じ て補正している。

被害額

	N L W	
区分	概要	算定方法
一般資産	家屋 家庭用品 事業所の資産等	各資産額×浸水深に応じた被害率
農作物	浸水による農作物	農作物資産額×浸水深に応じた被害率
公共土木施設等	公共土木施設 (道路・橋梁等) 公益事業施設 (鉄道・電力施設等)	一般資産被害額×74.2%
農地・農業施設	農地や農業用施設	水田・畑面積×1,539円/m2
間接被害	営業停止損失 応急対策費用 水害廃棄物処理費用等	

便益の合計 1649.5 億円 → 総便益 (現在価値化) 772.3 億円

○年平均被害軽減期待額(単位:億円)

年平均被害軽減期待額 22.9 億円

(後掲参考資料4、費用対効果分析算定結果参照)

(単位:億円)

	超過			被	害額			区間平均	区間	年平均
確率年	確率	一般 資産	農作物	公共 土木	農地・農業 施設	間接 被害	計	被害額 (a)	確率 (b)	被害額 (a)×(b)
1/20	0.050	18.9	0.4	14. 1	13. 3	1. 1	47.8	I	I	-
1/10	0.100	15. 9	0.4	11.8	13. 2	0.9	42. 1	44. 9	0.050	2. 2
1/5	0.200	14. 7	0.4	10.9	13. 0	0.8	39. 9	41	0.100	4. 1
1/3	0.333	10.9	0.3	8. 1	12.8	0.6	32.8	36. 3	0.133	4.8
1/2	0.500	8.1	0.3	6.0	12.6	0.5	27. 4	30. 1	0.167	5. 0
1/1.01	0.990	0	0	0	0	0	0	13. 7	0.490	6. 7
				年平均被	害軽減期待額	Ę				22. 9

#### 【算定していない便益等】

- ・洪水氾濫による直接的、間接的な被害のうち、現段階で経済的に評価可能な被害の防止効果を便益として評価しており、算定していない被害防止便益が多く存在するため、算定している以上の便益があると考えられる
- ・算定していない主な被害防止便益は、交通遮断による波及被害、家庭における平時の活動阻害、被災事業所の営業停止による周辺事業所への波及被害、リスクプレミアム、高度化便益などがある。

リスクプレミアム:被災可能性に対する不安

高度化便益:治水安全度の向上による地価の上昇等

#### 【前回再評価時との違いの要因】

・治水経済調査マニュアル改定に伴う被害額算定方法の変更、各種資産評価単価及びデフレーターの改定等による。

### 地域指定状況等

環境

の

・沿川に三陸復興国立公園が点在している。

#### 影響と対策

影響と対策

再評価部会意見

の対応状況

・河川整備の実施にあたっては、自然環境、貴重種だけでなく多様な動植物の生息・生育・繁殖環境の保全に努め、掘削を行う場合には、施工方法や施工時期の工夫により、その影響を最小限にとどめるよう配慮する。

#### 再評価実施状況

再評	<sup>工</sup> 価実施年度	平成 22 年度
	答申	継続妥当
	条件	なし
		1. 審議対象事業の実施に関する意見
		・なし
欠		2. 今後の事業実施に関する意見
答申		・近年、地球温暖化等に伴う異常気象の発生等が多く見られるよう
'	別紙意見	になり、本県においても、今後、自然災害リスクの増大が懸念さ
		れる。したがって、公共事業の実施に当たっては、事業の計画段
		階から、そうした視点も十分に考慮するとともに、とりわけ、県
		民の生命と財産に直結する事業については、事業効果の早期発
		現が図れるよう、迅速な施行に努めること。
	評価結果	事業継続
	対応方針	なし
≑πi		1. 審議対象事業の実施に関する意見への対応方針
評価		・なし
価結	別紙意見に	2. 今後の事業実施に関する意見への対応方針
果	対する対応	・公共事業の実施に当たっては、自然災害リスクの増大等の視点に
	方針	ついても、事業の計画段階から十分考慮するとともに、特に、県
		民の生命と財産に直結する事業においては、事業効果の早期発
		現が図れるよう、より一層、効率的・効果的な事業実施に努める。

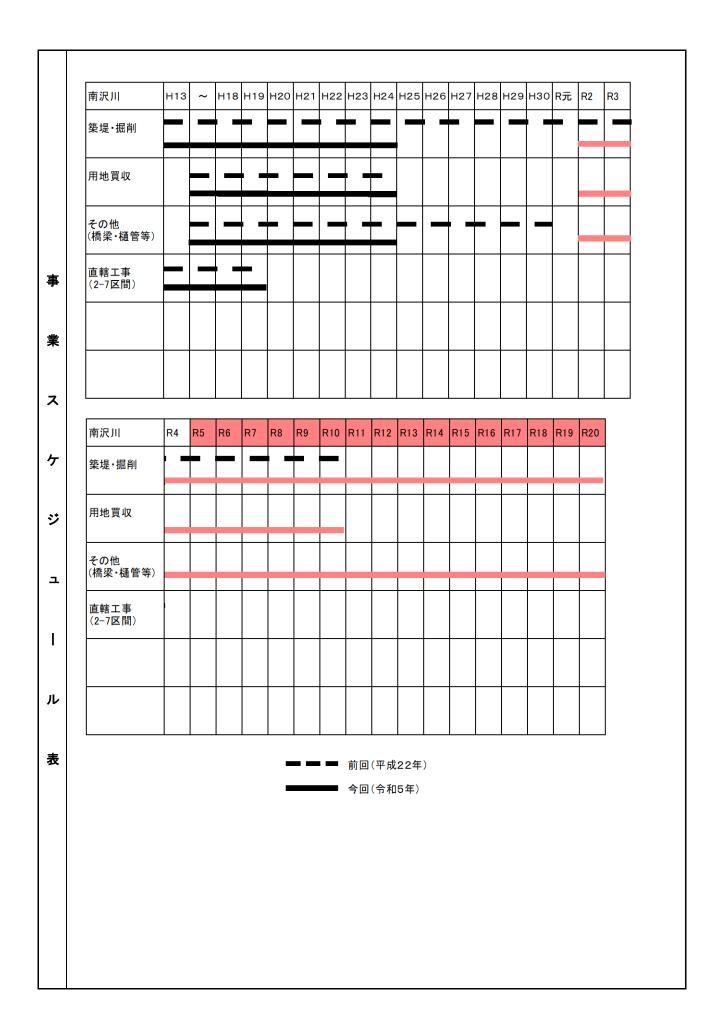
#### 現在の対応状況

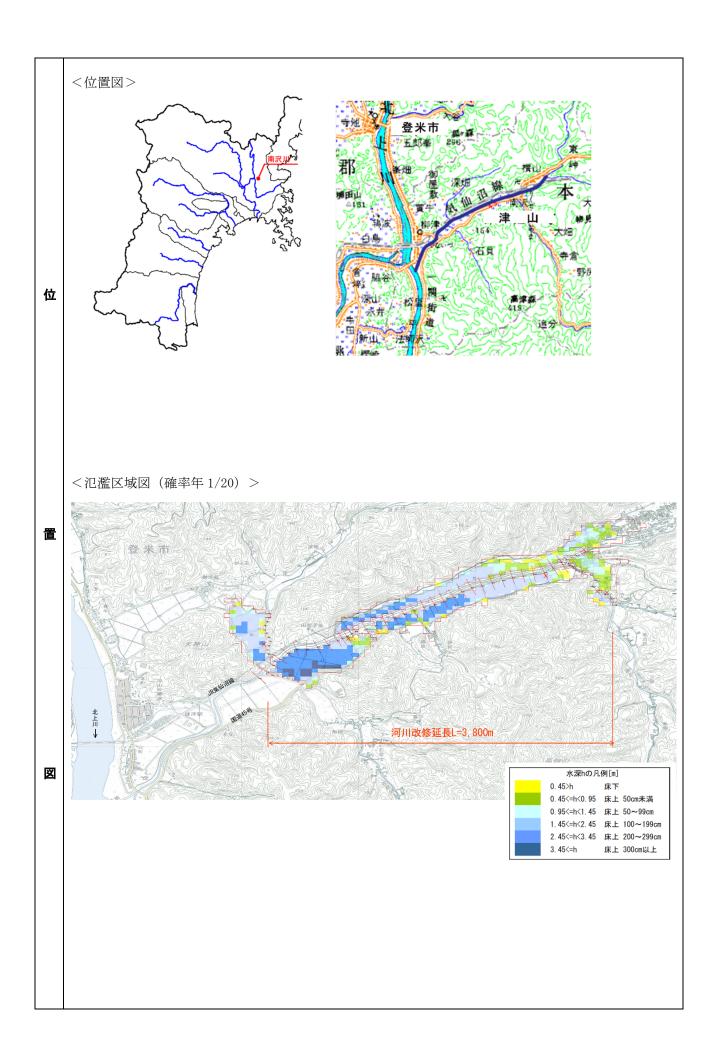
・事業効果の早期発現が図れるよう、効率的・効果的な事業実施に努めている。

# 総合評価

事業継続

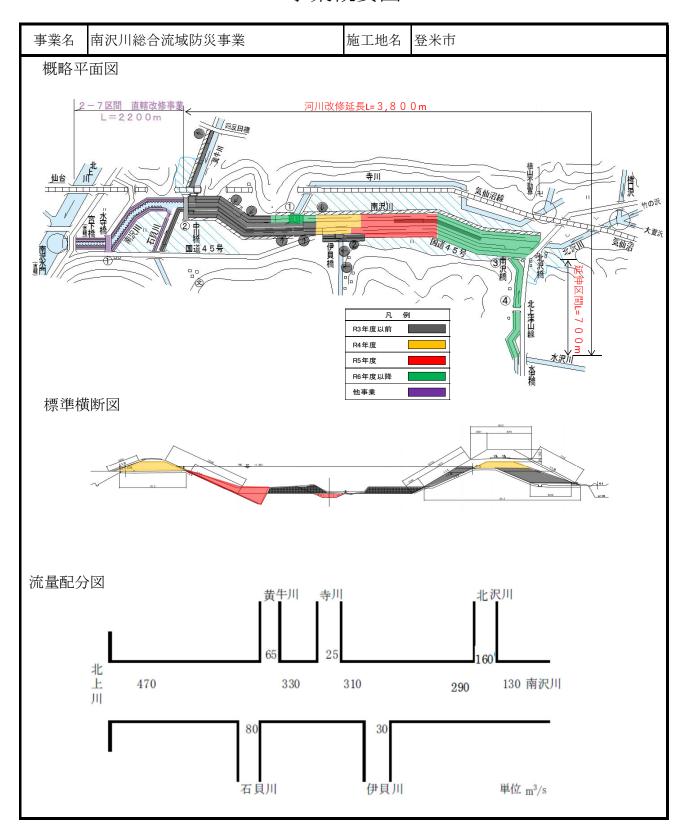
対応方針



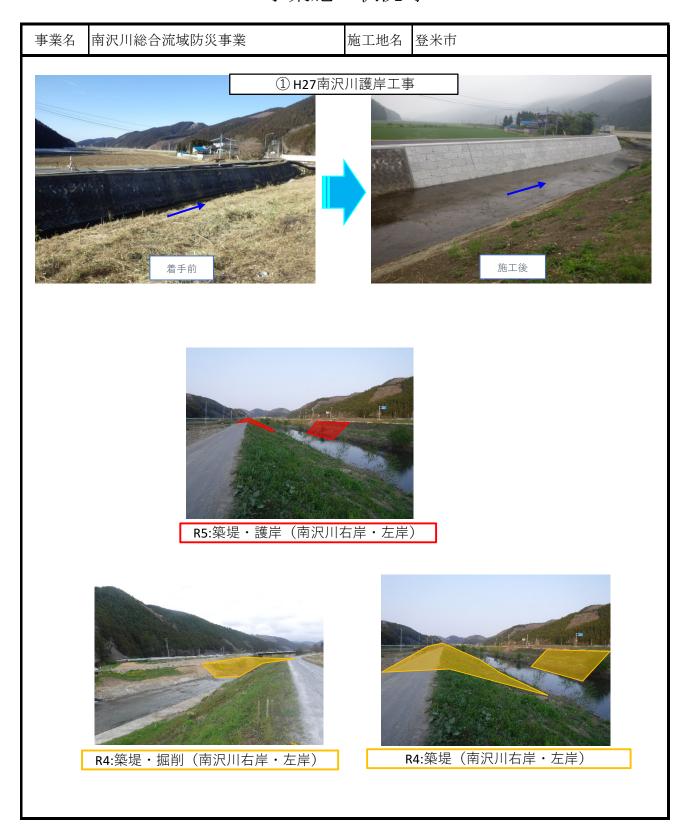


#### (参考資料1)

## 事業概要図



## 事業施工状況等



# 被災状況等

事業名 南沢川総合流域防災事業

施工地名 登米市

## <令和元年東日本台風>











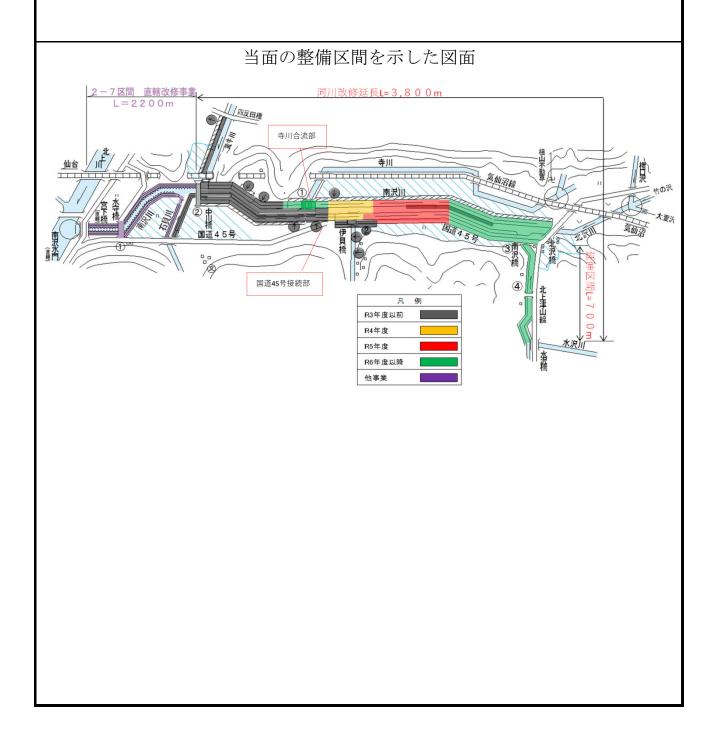


## 短期的事業計画調書

事業名 南沢川総合流域防災事業 施工地名 登米市

## 今後10年間の整備方針及び事業計画

・国道45号接続部より上流および寺川合流部付近については、令和10年度までの完成を目指し、築堤・護岸工事・橋梁工事を実施し、浸水被害の軽減を図る。



## 費用対効果分析算定結果

					庙ナ	E(B)					単位:百万 費用	円 (0)					[	ᄯᅩ	川水系	į	南沢
期間	年	F度t	デフ レー ター	③ 社会的 割引率	①便益	⑤現在 価値	デフレー ターに	④現在価 値化係数 (費用)	建設	費 ⑤現在 価値	費用 維持 ①費用		建設費-費用	·維持費 現在価値	_	F02			(百万円)	0.5	_
	-22 -21	H13	90.6	0.42	0.0 19.4	①/③ 0.0 44.3	よる係数 1.2 1.2	2/3 2.8 2.8	50.0 216.0	142.3 599.0	0.3 1.3	①×④ 0.7 3.7	50.3 217.3	143.0 602.7	0	500	1,000	1,50	0 2,000 更益(現在個		3,0
	-20 -19 -18	H15 H16 H17	89.4 89.7 90.2	0.46 0.47	103.4 166.3 240.2	226.5 350.5 486.6	1.2 1.2 1.2	2.7 2.6 2.4	162.0 190.0 339.0	432.0 485.5 828.4	2.1 3.1 4.8	5.7 7.9 11.7	164.1 193.1 343.8	437.7 493.4 840.1			総	費用(明	是在価値化)		
	-17 -16 -15	H18 H19 H20	91.2 92.6 95.4	0.51 0.53	371.9 544.5 682.1	724.5 1,019.8 1,228.4	1.2 1.2 1.1	2.3 2.2 2.1	444.0 354.0 316.0	1,031.8 779.0 649.0	7.0 8.8 10.4	16.3 19.3 21.3	451.0 362.8 326.4	1,048.1 798.3 670.3			1				
***	-14 -13 -12	H21 H22 H23	92.4 92.5 94.8	0.58 0.60	804.9 932.4 1,069.2	1,393.8 1,552.5 1,711.8	1.2 1.2 1.1	2.0 2.0 1.8	328.0 352.0 130.0	668.8 689.4 238.9	12.0 13.8 14.4	24.5 26.9 26.5	340.0 365.8 144.4	693.3 716.3 265.3							
整備期	-11 -10 -9	H24 H25 H26	94.5 96.5 99.7	0.65 0.68	1,119.7 1,251.5 1,251.5	1,723.7 1,852.5 1,781.2	1.2 1.1 1.1	1.8 1.7 1.6	339.0 0.0 0.0	600.8 0.0 0.0	16.1 16.1 16.1	28.5 26.9 25.0	355.1 16.1 16.1	629.4 26.9 25.0					Ę		
間 S	-8 -7 -6	H27 H28 H29	100.0 100.6 102.9	0.73 0.76	1,251.5 1,251.5 1,251.5	1,712.7 1,646.8 1,583.5	1.1 1.1 1.1	1.5 1.4 1.3	0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0	16.1 16.1 16.1	24.0 22.9 21.5	16.1 16.1 16.1	24.0 22.9 21.5	1						
Ĭ	-5 -4 -3	H30 H31,R1 H32,R2	106.5 108.8 108.8	0.82 0.85	1,251.5 1,251.5 1,337.0	1,522.6 1,464.0 1,503.9	1.0 1.0 1.0	1.2 1.2 1.1	0.0 220.0 200.0	0.0 257.4 225.0	16.1 17.2 18.2	20.0 20.1 20.5	16.1 237.2 218.2	20.0 277.5 245.4					_=		
	-2 -1 0	H33,R3 H34,R4 H35,R5	108.8 108.8 108.8	0.92 0.96	1,414.7 1,531.3	1,530.1 1,592.5 1,647.9	1.0 1.0 1.0	1.1 1.0 1.0	300.0 300.0 103.8	324.5 312.0 103.8	19.7 21.2 21.7	21.3 22.0 21.7	319.7 321.2 125.5	345.8 334.0 125.5				4			
	1 2 3	H36,R6 H37,R7 H38,R8		1.04 1.08 1.12	1,688.2 1,728.5 1,768.9	1,623.3 1,598.1 1,572.5	1.0 1.0 1.0	1.0 0.9 0.9	103.8 103.8 103.8	99.8 95.9 92.2	22.2 22.8 23.3	21.4 21.0 20.7	126.0 126.5 127.0	121.1 117.0 112.9							
	4 5 6	H39,R9 H40,R10 H41,R11		1.17 1.22 1.27	1,809.2 1,849.5 1,889.8	1,546.5 1,520.2 1,493.6	1.0 1.0 1.0	0.9 0.8 0.8	103.8 103.8 103.8	88.7 85.3 82.0	23.8 24.3 24.8	20.3 20.0 19.6	127.5 128.1 128.6	109.0 105.3 101.6		便益	<b>-</b> [				
	7 8 9	H42,R12 H43,R13 H44,R14		1.32 1.37 1.42	1,930.1 1,970.5 2,010.8	1,466.8 1,439.8 1,412.8	1.0 1.0 1.0	0.8 0.7 0.7	103.8 103.8 103.8	78.8 75.8 72.9	25.4 25.9 26.4	19.3 18.9 18.5	129.1 129.6 130.1	98.1 94.7 91.4			\ <u>=</u>				
	10 11 12	H45,R15 H46,R16 H47,R17		1.48 1.54 1.60	2,051.1 2,091.4 2,131.8	1,385.7 1,358.6 1,331.5	1.0 1.0 1.0	0.7 0.6 0.6	103.8 103.8 103.8	70.1 67.4 64.8	26.9 27.4 27.9	18.2 17.8 17.5	130.7 131.2 131.7	88.3 85.2 82.3		費用		į			
	13 14 15	H48,R18 H49,R19 H50,R20		1.67 1.73 1.80	2,172.1 2,212.4 2,252.7	1,304.5 1,277.6 1,250.9	1.0 1.0 1.0	0.6 0.6 0.6	103.8 103.8 103.8	62.3 59.9 57.6	28.5 29.0 29.5	17.1 16.7 16.4	132.2 132.7 133.3	79.4 76.6 74.0				į			
	16 17 18	H51,R21 H52,R22 H53,R23			2,293.1 2,293.1 2,293.1	1,224.3 1,177.2 1,131.9					29.5 29.5 29.5	15.8 15.1 14.6	29.5 29.5 29.5	15.8 15.1 14.6	-p -p -p						
	19 20 21	H54,R24 H55,R25 H56,R26			2,293.1 2,293.1 2,293.1	1,088.4 1,046.5 1,006.3					29.5 29.5 29.5	14.0 13.5 12.9	29.5 29.5 29.5	14.0 13.5 12.9	-p -p						
	22 23 24	H57,R27 H58,R28 H59,R29			2,293.1 2,293.1 2,293.1	967.6 930.4 894.6					29.5 29.5 29.5	12.4 12.0 11.5	29.5 29.5 29.5	12.4 12.0 11.5	-p -p -p						
ŀ	25 26 27	H60,R30 H61,R31 H62,R32			2,293.1 2,293.1 2,293.1	860.2 827.1 795.3					29.5 29.5 29.5	11.1 10.6 10.2	29.5 29.5 29.5	11.1 10.6 10.2	-p -p -b						
ŀ	28 29 30	H63,R33 H64,R34 H65,R35			2,293.1 2,293.1 2,293.1	764.7 735.3 707.0					29.5 29.5 29.5	9.8 9.5 9.1	29.5 29.5 29.5	9.8 9.5 9.1	-ja -ja						
施	31 32 33	H66,R36 H67,R37 H68,R38			2,293.1 2,293.1 2,293.1	679.8 653.7 628.5					29.5 29.5 29.5	8.7 8.4 8.1	29.5 29.5 29.5	8.7 8.4 8.1	-10 -10 -11						
設完成	34 35 36	H69,R39 H70,R40 H71,R41			2,293.1 2,293.1 2,293.1	604.3 581.1 558.7					29.5 29.5 29.5	7.8 7.5 7.2	29.5 29.5 29.5	7.8 7.5 7.2	- P						
の 評	37 38 39 40	H72,R42 H73,R43 H74,R44 H75,R45			2,293.1 2,293.1 2,293.1 2,293.1	537.3 516.6 496.7 477.6					29.5 29.5 29.5 29.5	6.9 6.6 6.4 6.1	29.5 29.5 29.5 29.5	6.9 6.6 6.4 6.1	-p -p						
設完成後の	41 42 43	H76,R46 H77,R47 H78,R48			2,293.1 2,293.1 2,293.1 2,293.1	459.2 441.6 424.6					29.5 29.5 29.5 29.5	5.9 5.7 5.5	29.5 29.5 29.5 29.5	5.9 5.7 5.5	-p -p -h						
0	44 45 46	H79,R49 H80,R50 H81,R51			2,293.1 2,293.1 2,293.1 2,293.1	408.3 392.6 377.5					29.5 29.5 29.5 29.5	5.3 5.1 4.9			-ji -ji -li						
年)	47 48 49	H82,R52 H83,R53 H84,R54			2,293.1 2,293.1 2,293.1	362.9 349.0 335.6					29.5 29.5 29.5	4.7 4.5 4.3	29.5 29.5 29.5	4.7 4.5 4.3	-p -p -b						
	50 51 52	H85,R55 H86,R56 H87,R57			2,293.1 2,293.1 2,293.1	322.7 310.3 298.3					29.5 29.5 29.5	4.2 4.0 3.8	29.5 29.5 29.5	4.2 4.0 3.8	-ja -ja -ja						
	53 54 55	H88,R58 H89,R59 H90,R60			2,293.1 2,293.1 2,293.1	286.8 275.8 265.2					29.5 29.5 29.5	3.7 3.5 3.4	29.5 29.5 29.5	3.7 3.5 3.4	-p -p -p						
	56 57 58	H91,R61 H92,R62 H93,R63			2,293.1 2,293.1 2,293.1	255.0 245.2 235.8					29.5 29.5 29.5	3.3 3.2 3.0	29.5 29.5 29.5	3.3 3.2 3.0	-p -p -p						Ħ
	59 60 61	H94,R64 H95,R65 H96,R66			2,293.1 2,293.1 2,293.1	226.7 218.0 209.6					29.5 29.5 29.5	2.9 2.8 2.7	29.5 29.5 29.5	2.9 2.8 2.7	-p -p -p			i			
	63 64	H98,R68 H99,R69			2,293.1 2,293.1	193.8 186.3					29.5 29.5	2.5 2.4	29.5 29.5	2.5 2.4	-0 -0 -1						nhh
	65 合計					77,234.5			5,900	9,521.1		1,074.2		10,595.3 7.29	3,000.0 2	2,500.0	2,000.0		0.0 1,000.0	500.0	0.
-	58 59 60 61 62 63 64 65	H93,R63 H94,R64 H95,R65 H96,R66 H97,R67 H98,R68 H99,R69			2,293.1 2,293.1 2,293.1 2,293.1 2,293.1 2,293.1 2,293.1 2,293.1	235.8 226.7 218.0 209.6 201.5 193.8 186.3 179.2			5,900	9,521.1	29.5 29.5 29.5 29.5 29.5 29.5 29.5 29.5	3.0 2.9 2.8 2.7 2.6 2.5 2.4 2.3	29.5 29.5 29.5 29.5 29.5 29.5 29.5 29.5	3.0 2.9 2.8 2.7 2.6 2.5 2.4 2.3 10,595.3	- p - p - p - p - p - p - p - p - 2	2,500.0	2,000.0		0.0 1,000.0 百万円)	)	500.0